

くまもとの誇り くまもとの宝

私たちの宝 阿蘇の継承

“くまもとの宝”を未来へつなぐ!



阿蘇は、自然と人が共生しているところに価値があるんだね。この価値を未来へ引き継いでいけるよう、みんなで守っていきましょう。

私たちがレポートします!

熊本学園大学 熊本県内の大学生で構成される佐々木彩乃さん「たより隊」が熊本県のお知らせを、分かりやすくレポートします。



阿蘇の魅力は、美しい自然と共生し、ゆっくりとした時間の中、気持ちをリフレッシュできる点です。この魅力が失われることなく、阿蘇以外の方にも伝わることを願っています。

工藤 健さん
6年前、産山村に家族で移住して新規就農

毎年、地元の住民・畜産農家、行政、ボランティアの方々と連携し、野焼きを行っています。長年守られてきた草原を、自分の代で途絶えさせるわけにはいかないという強い気持ちでいます。阿蘇に住む人だけでなく、県民みんなで守り、引き継いでいくという意識が大事だと思います。



安片 英人さん
おくらぼろ ぼくや
小倉原牧野組合長

阿蘇の大景観は広大なカルデラ地形と人々の共生により、長い時間をかけつくり出されました。その中心となる草原は、野焼き・採草・放牧によって維持されています。阿蘇の価値を守り、次世代へ継承していくために、世界文化遺産登録を目指します。

世界文化遺産登録を目指す「阿蘇」の構成資産

- 2万2千ヘクタールにも及ぶ日本一広大な草原を核とした「阿蘇の文化的景観」
- 信仰や神話、文学作品などの舞台となった「阿蘇五岳」
- 直接のそくことができる希少な噴火口を持つ「中央火口丘群」
- 信仰の証となる「阿蘇神社」
- 阿蘇開発の指導者をまつる「中通古墳群」
- 阿蘇谷と外界とを結ぶ「豊後街道」

阿蘇 世界遺産 検索



県内の遺産

2018年世界文化遺産登録

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」

「天草の崎津集落」

キリスト教禁教政策のなかで、地域独自の祈りのかたちを育みながら密かに信仰を継承した集落です。

11月10日(土)まで、崎津資料館みなと屋で、世界文化遺産登録1周年記念特別展が開催中。

潜伏キリシタン 熊本 検索



2015年世界文化遺産登録

「明治日本の産業革命遺産 -製鉄・製鋼、造船、石炭産業-」

「万田坑」

明治35年に開坑。当時わが国の石炭の規範とすべく、三井組が総力をあげて、整備した坑口です。明治期の一連の炭鉱設備を見学できます。

「三角西港」

明治期の三大築港の一つで、わが国初の近代港湾施設です。明治20年に開港し、三池炭鉱の石炭を中国に輸出する役割を担いました。

明治日本 熊本 検索

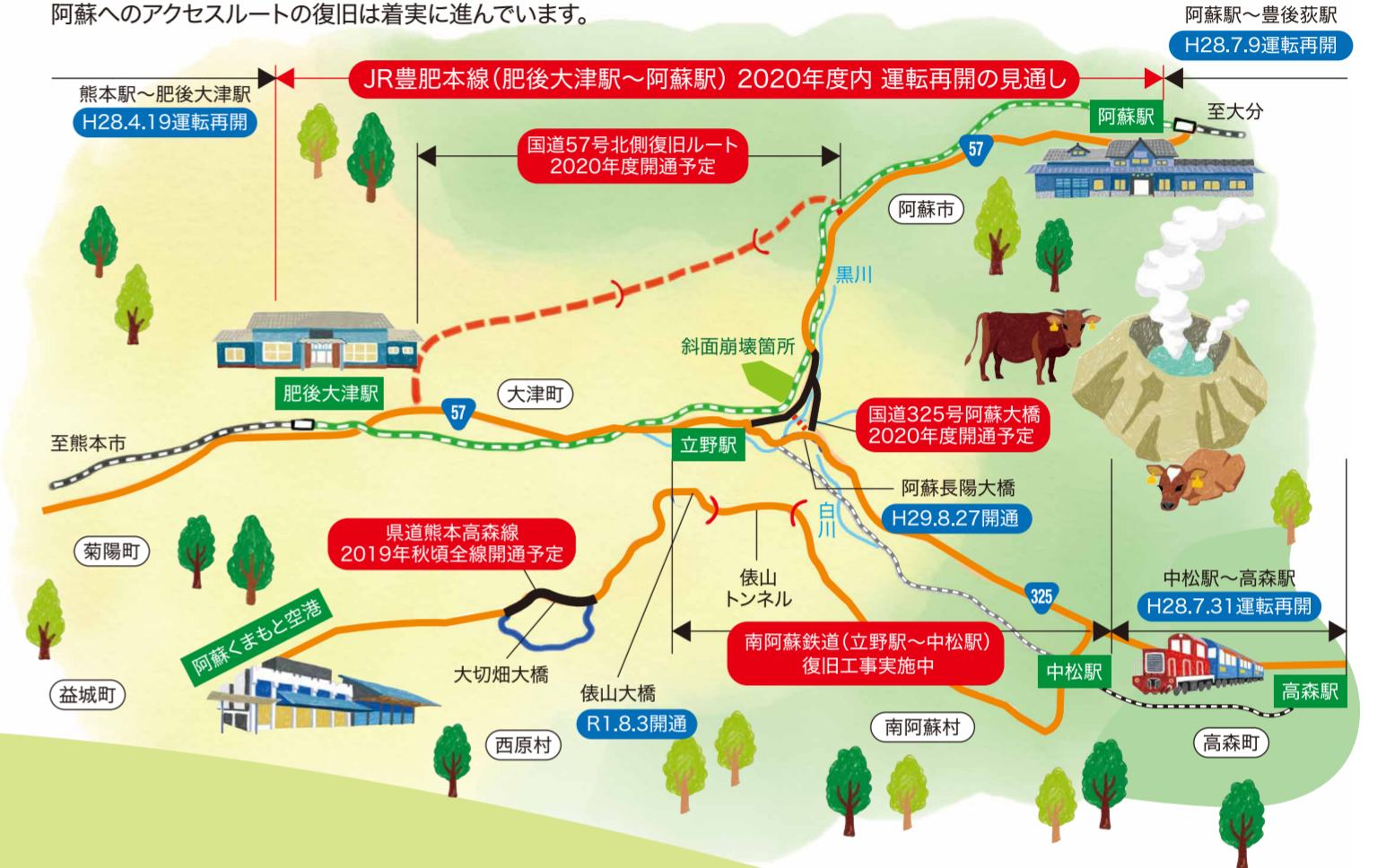


世界遺産や阿蘇の取り組みについて
【お問い合わせ】熊本県文化企画・世界遺産推進課
☎096-333-2153

熊本には、世界文化遺産や日本遺産など、先人から受け継いだ数多くの“宝”が残されています。その“宝”の一つである阿蘇では、世界文化遺産登録を目指し、活発な取り組みが行われています。また、熊本の“誇り”のシンボルである熊本城の復旧も進んでいます。

阿蘇へのアクセスルートの復旧状況

県道熊本高森線は、8月3日に俵山大橋が開通し、今秋には全線復旧が完了する予定です。また、JR豊肥本線が、2020年度内に運転再開の見通しが示されるなど、阿蘇へのアクセスルートの復旧は着実に進んでいます。



私たちの誇り 熊本城の復旧

熊本城では、大きな被害を受けた熊本地震からの復旧工事が着々と進んでいます。今回、熊本城天守閣の大手守外観復旧に合わせて、10月5日(土)から特別公開が実施されます。

熊本城特別公開 第1弾

復旧へ向かう熊本城の姿をぜひご覧ください。

●公開日/2019年10月5日(土)~(日曜、祝日限定)

※10月5日~14日は平日も公開します。ラグビーワールドカップ・女子ハンドボール世界選手権開催期間中は土曜も公開します。

●公開時間/9時~17時

※公開初日(10月5日)・平日は13時~17時



熊本城総合事務所提供



熊本城公式HP

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○ 9:00~17:00の公開予定

○ 13:00~17:00の公開予定

※11月以降も実施予定



地震後、入ることができなかった場所からお城を見られるのが楽しみ! 特別公開のスケジュールについては、熊本城のホームページでチェックしよう。

県民の誇りである熊本城の再建を“復興のシンボル”として、前を向く熊本の姿と重ね合わせる県民の方も多と思います。特別公開では、今しか見られないお城の姿を目に焼き付けてください。



中元 正人さん
熊本城総合事務所副所長

2017年日本遺産認定

米作り、二千年にわたる大地の記憶
~菊池川流域「今昔『水稲』物語」~

菊池川流域では、菊池溪谷を源とするミネラル豊富な水が、米作り文化を育み、おいしい食や美しい景観などを生み出しています。

9月1日(日)まで、熊本県立美術館で日本遺産認定を記念した展示会を開催中。

【お問い合わせ】菊池川流域日本遺産協議会事務局
(山鹿市教育委員会社会教育課) ☎0968-43-1651

日本遺産 菊池川流域 検索



2015年日本遺産認定

相良700年が生んだ保守と進取の文化
~日本で最も豊かな隠れ里一人吉球磨~



人吉球磨は、鎌倉時代から明治維新までの約700年という長期にわたり相良氏が治めた地域です。数多くの文化財や風習が今もなお暮らしの中に息づいています。

【お問い合わせ】人吉球磨日本遺産活用協議会
(事務局:人吉市教育委員会歴史文化課)
☎0966-22-2111(代表)

日本遺産 人吉球磨 検索



「五感、ひびく、観動旅、もっと、もーっと! くまもっと。」
~熊本デスティネーション
キャンペーン開催~

熊本県は7~9月の3か月間、全国JR6社と連携した大型観光キャンペーンを開催しています。「熊本での感動体験を目的に、もっともっと観光していただきたい」という思いを込め、温泉、食、絶景、歴史、体験などの観光素材を全国に発信します。キャンペーンに合わせて、スマホのカメラを使ってくまモンになれる無料アプリ「COCOAR2」や、スタンプラリー感覚で熊本を周遊できる無料アプリ「mawaru」も開発しました。また、お得な特別体験プランも用意しています。全国のJR各駅でパンフレットを配布していますので、ぜひご覧ください。

くまもっと 検索